

わらび WARABI

市議会 だより

No. 190

2015・6

編集

蕨市議会議会だより編集委員会

TEL/048-433-7733

FAX/048-432-7991

Eメールアドレス

gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

平成27年度予算を全会一致で可決… P02

平成27年度予算会派代表質疑…………… P04

頼高市長のあったか市政を問う…………… P06

3月定例会における賛否結果…………… P14

蕨市議会基本条例・編集後記…………… P16

ご意見をお寄せください

今回の表紙写真は、昨年6月にねむのき公園で行われた「あじさいまつり」でのワンカットです。色とりどりのあじさいが咲き誇る会場で、日頃の練習の成果を発揮しようと太鼓を演奏する晴れやかな表情が素敵ですね。今年は6月13・14日に開催され、たくさんのイベントが予定されているようなので、皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。



※榎本和孝議員は4月3日付で蕨市議会議員を辞職しました。

3月定例会において全9会計の 平成27年度予算を全会一致で可決

平成27年度予算総額は44億1千4万8千円(前年度比3.1%増)に

3月定例会は2月24日から3月23日までの28日間の会期で開催されました。

今定例会では、市長の施政方針表明が行われたほか、「平成27年度一般会計予算」等の議案に対して、各会派から多岐にわたる様々な質疑がなされました。

また、3日間にわたった一般質問では、平成27年度の新規事業の内容や3月に改定された地域防災計画にかかわる防災対策等、市政の重要課題を14人の議員がそれぞれ取り上げ、執行部の見解を問いました。

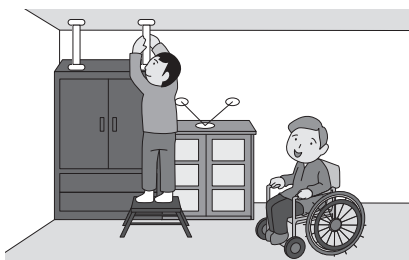
最終日には、陳情1件を不採択としたほか、市長提出議案を全て原案のとおり可決し、閉会となりました。

平成27年度予算は一般会計226億4千万円、特別会計(全6会計)174億3千400万円、企業会計(全2会計)44億3千604万8千円の原案のとおり可決され、総額で44億1千4万8千円となりました。

予算編成においては、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン並びに推進プランに基づき、各施策指標の進捗に向けた計画的な取り組みを図るとともに、市民要望に基づく市長マニフェストの実現をはじめとする「安全・安心」「にぎわいと活力」「みんなに愛されたい」まちづくりに重点を置きながら、優先順位による厳しい事業選択を行い、編成されたものとなっています。

平成27年度予算の主な事業の内容は次のとおりです。

◆災害への備え



とうとい命を守るために家具転倒防止器具の購入や設置に助成を行います

地震ハザードマップの内容を更新するほか、浸水対策として市内7カ所に土のうステーションを設置します。

また、テレビ埼玉及び蕨ケーブルビジョンと連携した防災情報の発信を実施します。

さらに、地震時の家具転倒を防ぐため、障害者や高齢者世帯などを対象に、家具転倒防止器具の購入並びに設置に

対する補助金を計上するなど、災害対策の強化を図ります。

◆安全・安心なまちづくり

蕨駅周辺を見回って、駐輪や防犯についての指導を行う回数を増やし、犯罪発生抑制に一層努めます。

また、「自転車安全利用条例」に基づき、自転車乗用ヘルメットの着用促進を図るため、自転車用ヘルメット購入費補助金を計上しています。

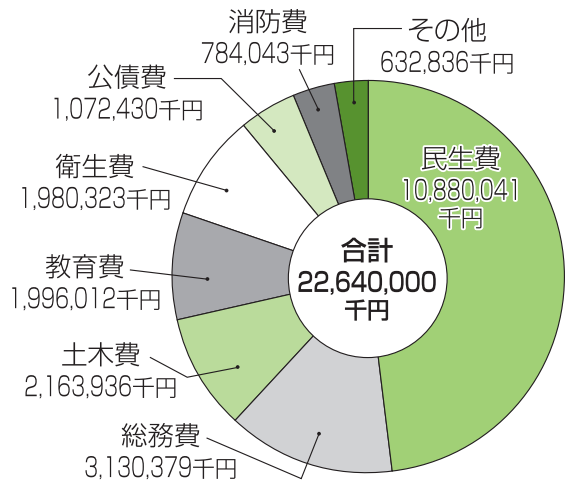
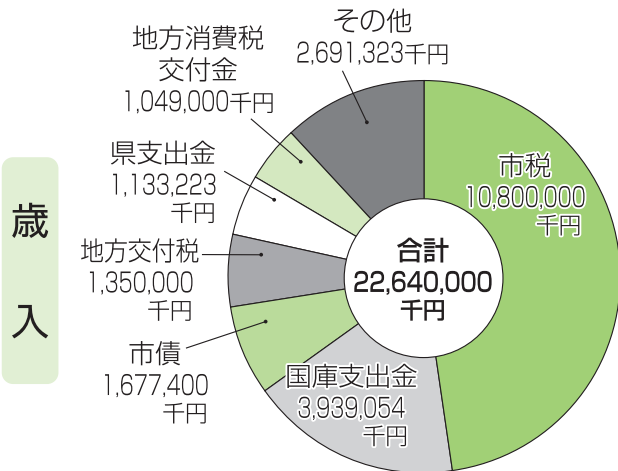
◆健康な暮らし

胃がん検診の受診率向上を図るため、集団検診から医療機関での個別検診へ改めます。

また、「蕨市歯科口腔の健康づくり推進条例」に基づき、20歳の人を対象とした歯周疾患検診や歯全体のレントゲン撮影に要する費用を新たに追加しています。

平成27年度一般会計予算は 226億4千万円(前年度比3.4%増)に

平成27年度一般会計 歳入・歳出予算内訳



市債：前年度比	+4億 940万円	大幅な増減のあった 予算科目	総務費：前年度比	+6億7,124万円
地方消費税交付金：	// +3億5,200万円		公債費：	-1億6,594万1,000円
地方交付税：	// -2億 円		民生費：	+1億2,137万5,000円



塚越7丁目に開園されたたけやきの森保育園園園

◆生活困窮者等の自立支援
生活保護に至る前の自立支援強化として、経済的な自立に関する相談などへの支援、生活困窮家庭の子どもへの学習支援などを実施します。

◆子育て支援
留守家庭児童指導室の入室対象を小学4年生までから6年生までに拡大することにあわせて、小学校の一時的余裕教室を活用し、留守家庭児童指導室を2カ所増設します。

また、民間認可保育園の運営に係る委託料及び補助金については、4月に塚越及び北

町に開園予定の2園分、秋に北町に開園予定の1園分を追加するなど、子育て支援対策の一層の強化を図ります。

◆障害者支援
障害者が周囲の人から適切な援助を受けられるよう、援助してもらいたい事柄や緊急連絡先などを記載できるヘルプカードを新たに作成します。

◆高齢者支援
市内に特別養護老人ホームを設置するための用地確保協力者に対する奨励金を計上したほか、24時間在宅福祉サービス、在宅要介護高齢者手当、ケアハウス松原の指定管理料、敬老祝金など、各施策についての予算を計上しています。

◆住環境の整備
蔵駅東口コミュニティ・ショッピング道路の基本整備方針に基づき設計費用を計上したほか、設置後20年を経過した道路照明灯及び標識の点検費用を新たに計上しています。

◆商工業活性化支援
地域資源を活用して、蔵の魅力を実践的に市内外に発信するため、商工会議所と協力して「蔵ブランド」の制度設計を進めます。

◆生涯学習環境の整備
成年式70周年の記念事業を予定するほか、市民体育館を含む複合施設については、空調設備改修などを含む耐震補強等工事の設計費を予算化しています。

◆学校教育環境の整備
引き続き35人程度学級を小学校全学年で実施するほか、小・中学校全校に緊急地震速報システムを導入し、児童・生徒の迅速で安全な避難行動につなげていきます。



にぎわいのあるまちづくりを目指します(宿場まつり)

平成27年度予算案の特徴と予算編成について、新しいまちづくりを進めるために

市長の基本方針と 新規・拡充事業について

【議員】 平成27年度予算編成に当たり、頼高市長の基本方針がどう反映されているのか。また、新規・拡充事業はどのようなものか。

総務部長 「コンパクトシティ」将来ビジョン

の実現、行財政改革の推進、協働のまちづくりの前進の3点を重点方向とし、6つの基本目標に取り組んだ予算を編成した。6つの基本目標に沿った主な新規拡充事業として、「安全で安心して暮らせるまち」では、東及び南公民館の耐震補強等工事を初めとする耐震補強等事業など、豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち」では、民間認可保育園の増設など、みんなにわたって健康に生活できるまち」では、胃がん検診の個別検診化など、「にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち」では、音楽のまちづくりの推進など、「快適で過ごしやすい環境にやさしいまち」では、中央第一地区まちづくり事業の推進など、「一人ひとりの心でつながる笑顔あふれるまち」では、配偶者暴力相談支援センタ

ーの設置などである。

新生会 川島 善徳



子育て支援の充実を

【議員】 子育て支援対策、保育事業の推進についてはどうなのか。

健康福祉部長 「コンパクトシティ」将来ビジョンや、このたび策定される歳市子ども・子育て支援事業計画の着実な遂行を図り、安心して子どもを産み育てることができるとまちづくりを目指して、認可保育園3園の新規開設や留守家庭児童指導室2室の新規開設などの経費を計上している。

公共施設の耐震化、老朽化対策について

【議員】 主な公共施設の建築年数と耐震化改修工事の優先順位はどのようなものか。

総務部長 市役所庁舎・昭和39年、市立病院・昭和45年、中央公民館・昭和47年等となっている。優先順位は、これまで建物の建築年数や階数、子どもやお年寄りなどが長時間滞留する施設がどうかなどにより、耐震化を推進してきたが、今後はさらに、公共施設等マネジメント白書の結果を見据え、その後の公共施設等総合管理計画策定の中で議論していきたい。

都市計画の推進について

【議員】 中央第一地区まちづくり事業の推進についてはどうなのか。

都市整備部長 中央第一地区まちづくりプランに基づき、地区計画制度を活用した道路の拡幅整備や公園等の整備を進めている。平成27年度も引き続き権利者の意向を伺いながら、用地の取得など、事業の推進に努めたい。

【議員】 歳市西口再開発事業は、昨年権利者などで組織された準備組合が設立されたが、第二・第三工区の推進はどのようなものか。

都市整備部長 準備組合による事業化に向けた活動に対し、必要な支援と十分な協議を行いたい。

会派代表質疑

3月定例会では、新年度一般会計予算に対して、各会派の代表者が質疑を行いました。

あったか市政の前進、将来ビジョンの実現に向けて

予算の編成方針

【議員】 ①予算編成方針と重点施策はどうか。②土地開発公社健全化計画の見通しはどうか。

総務部長 ①「コンパクトシティ」将来ビジョン」「行財政改革」「協働のまちづくり」の3つを重点方向とし、「安全で安心して暮らせるまち」「豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち」「みんなにわたって健康に生活できるまち」「にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち」「快適で過ごしやすい環境にやさしいまち」「一人ひとりの心でつながる笑顔あふれるまち」の6つの取り組みを重点施策とした。②25年度から9年間で約46億円の土地を買い戻す計画で、27年度予算通り実行した場合、買い戻し合計は約19億7千万円で約43%の進捗となる。

公共施設の耐震化

【議員】 公共施設の耐震化や、東・南公民館の工事の対応はどうか。

教育部長 北町コミュニティセンターは、耐震補強の必要性があるとの結果が出ている（27年度耐震化設計、28年度耐震化

日本共産党 梶原 秀明



工事の予定。東・南公民館の工事は、5月から7月を予定している。南公民館は休館しないが、東公民館は安全上、一部を除き閉館させていただく。

生活困窮者支援法

【議員】 生活困窮者自立支援法に基づく市の事業はどうか。

健康福祉部長 4つの事業を実施する。「自立相談支援事業」は、個々人の支援計画を立て、各種サービスを提供につなげることで、関係機関への同行訪問・就労支援を実施する。「住宅確保給付金」は、住宅を失う恐れのある人などへ家賃相当額を支給する。他に、任意事業として「家計相談支援事業」は、支援計画作成、貸付のあっせんなどを行う。「学習支援事業」は、生活困窮世帯の中学生・高校生を対象に実施する。

家具転倒防止器具設置補助制度

家具転倒防止器具設置補助制度

【議員】 事業の概要や対象者、申し込み手続き、事業者の募集方法などはどうなのか。

市民生活部長

【議員】 地震時の圧死など被害を減らす取り組みである。75歳以上のみ世帯、障がい者のいる世帯、要介護・要支援認定を受けている人のいる世帯が対象。器具の購入と設置費用（上限1万円）を補助する。申し込み手続きは検討中。事業者は市内の事業者で、家具固定サポーター登録事業者、歳市小規模修繕・修繕登録事業者など、条件を満たす事業者とする。埼玉土建と建設埼玉に協力いただき進めたい。

歳ブランド

【議員】 歳ブランドづくりの基本方針はどうか。

市民生活部長 中山道歳宿 双子織、わらびんごなどの活用で、歳の魅力を市内外に発信するための制度設計を行う。

高齢者・障がい者には福祉の充実を！次世代には夢や希望が持てる市政を！

社会保障費について

議員 2015年度（平成27年度）国の予算案は過去最大の9兆3千億円で、特に社会保障費が約3兆5千億円と全体の3割を占めているが、市財政への影響はどのようなものか。

総務部長 国は消費税増税分等を活用した社会保障の充実を図っており、本市の当初予算案においても、社会保障関連経費の総額は対前年度比で約4億円増え、104億9千万円となっている。

27年度予算編成について

議員 予算編成上、「選択と集中」の観点から、市長査定までの各部署からの概算要求額とその査定状況、また、27年度の基本方針と重点施策についてはどのようなものか。

総務部長 各部署からの予算要求総額は235億2千万円程度であり、その後市長査定等を経て、最終的に226億4千万円の計上となった。また、基本方針等については「コンパクトシティ」将来ビジョンの実現、行政改革の推進、協働のまちづくりの前進の3つを重点方向とし、6つの基本目標に取り組んだ予算を集中

民主党 一関和一



と選択の中で事業の優先度を図りながら編成した。

収納率の向上を目指して

議員 市税等の滞納整理の取り組みと債権管理対策委員会の主な取り組みはどのようなものか。

総務部長 現年分だけの滞納であったとしても、一斉催告として差し押さえ予告書を年6回発送する予定である。また、大口滞納者については早期に対応し、来庁による納税相談を実施すること等を考えている。債権管理対策委員会については、各担当課が抱えている未収金債権について、効果的な事例を研究するとともに、市の債権に対する方向性について、統一した考え方で債権回収に当たるよう取り組んでいきたい。

将来ビジョンの推進について

議員 「コンパクトシティ」将来ビジョン推進プランの主な初年度の概

要と歳市経営戦略推進本部の体制はどのようなものか。

総務部長 公共施設等マネジメント白書の策定や協働推進月間の創設、部課長方針のさらなる活用などについて、取り組みを進めていきたい。推進体制については、引き続き市長を本部長とした歳市経営戦略推進本部において、進行管理を行うとともに、推進本部が特に必要と認める事項については部会を設置し、プランを推進していきたい。

会派からの予算要望の反映状況について

議員 民主党歳市議団による24項目の重点施策要望及び189項目の諸要望に対し、27年度予算案にどう反映されたのか。

総務部長 各会派からの予算要望等については、市政の重要課題として真摯に受けとめ、優先度や財政的な面を考慮しつつも、可能な限り反映したものと考えている。

平成27年度一般会計予算

誰もが住みやすいと思えるような将来性のある都市像を目指して、平成27年度予算編成を問う！

歳入の根幹である市税について

議員 市税の当初予算108億円は、対前年度比0.5%増の5千万円増であり、増加傾向にあるものの財政収支総体の視点から見れば、まだまだ非常に厳しい財政状況にある。市税全般の積算内容についてはどのようなものか。

総務部長 市民税・個人分は、給与所得や雇用情勢に若干ながら改善が見られること等の増分を見込み、26年度当初予算より7千555万円の増額、法人分は、26年度税制改正における法人税割の税率の引き下げによる影響額を反映させ、3千409万8千円の減額で計上した。また、固定資産税は2千435万円の増額、軽自動車税は158万4千円の増額、たばこ税は1千万円の減額、都市計画税は238万6千円の減額となっている。

安全に生活するための防犯対策の充実について

議員 昨今、防犯への関心が非常に高まる中、安全・安心なまちづくりを目指し、さまざまな防犯対策を講じているが、その事業内容はどのようなものか。

口周辺の自転車等の利用者に対し、駐輪・防犯指導の夜間見回りを実施するための費用を計上したほか、LED防犯灯100基分の新設や建てかえ工事、各種防犯キャンペーンの開催及び防犯啓発用チラシの作成を予定している。

個別勧奨がん検診について

議員 女性がん検診事業をさらに拡充した個別勧奨がん検診事業について、私ども公明党が強力に推進してきた事業である。27年度の事業内容はどのようなものか。

健康福祉部長 個別勧奨がん検診はクーポン券をお送りして、無料でがん検診が受けられるもので、子宮がん検診は20歳の方を対象に医療機関での個別検診、乳がん検診は40歳の方を対象に個別検診か集団検診を選べる方法で実施し、過去の両検診の対象者で未受診の方への受診勧奨も実施する。

公明党 松本 徹



駅西口市街地再開発事業について

議員 駅前はそのまちの玄関口であり、顔でもある。駅西口再開発事業の今後の計画はどのようなものか。

都市整備部長 昨年12月に第二、第三工区の権利者により、駅西口地区市街地再開発準備組合が設立されたことから、今後は事業化に向けて、準備組合の活動に対し、必要な支援、また、十分な協議を進めていきたい。

幼稚園児補助金について

議員 幼稚園児補助金は、公明党市議団として重点事業項目の1つであり、かねてより力を傾注してきた事業である。新年度予算74万円の予算計上の内訳はどのようなものか。

教育部長 5歳児については年額4万円、それ以外の場合には年額2万8千円で、園児240人を対象者として見込み、総額74万を計上している。